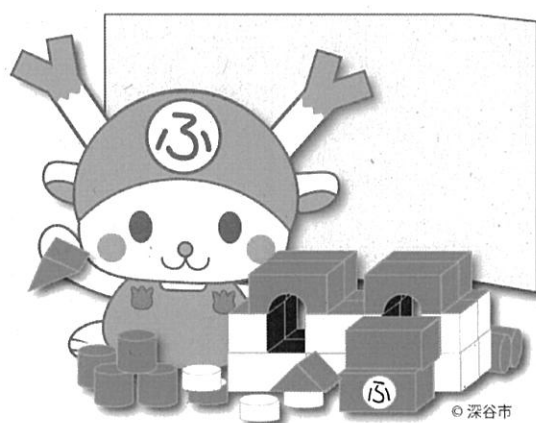


深谷市公共施設等総合管理計画

公共施設と土木インフラを対象とした
平成25年度から平成64年度までの40年間の長期計画



第3章 公共施設等の整備の方針

1. 保有施設の簡易評価

公共施設マネジメントに必要な整備方針を立てるためには、対象とする公共施設の状态的に評価することが求められます。しかし、全ての施設評価を詳細かつ迅速に実施することは困難であるため、様々な視点から収集した情報を用いて公共施設の簡易評価を行います。

この簡易評価については、方針決定済施設（31 施設、P70 から P75 を参照）を除く、公共施設の在り方を検討する上で参考とします。

※この簡易評価は、平成 26 年度末時点の公共施設の状況を簡易的に評価した結果であり、調査後に改修などが行われた場合は評価が変わります。そのため、簡易評価の結果がそのまま各施設の具体的な方向性を決定するものではありません。

（1）簡易評価手法と項目

公共施設を評価するにあたり、図 3-1 に示すように公共施設を管理する行政の立場と、利用者である市民の立場とに着目し、それぞれ「管理者視点」と「利用者視点」という 2 つの視点から評価を行います。この 2 つの視点は、次のとおりそれぞれ 3 つの評価軸で成り立ち、各評価は 2 つの項目により構成されています。

【管理者視点】

◆劣化度（安全性）	築後年数又は大規模改修工事の実施の有無及び耐震性能
◆建物管理度（健全性）	12 条点検（建築基準法）の建築に関する項目及び消防点検の結果
◆費用度（経済性）	エネルギー費・人件費など経常的に必要となる費用及び改修費など年度によって変動が大きい費用

【利用者視点】

◆環境度（有用性）	500m×500m のマス目の人口密度及びハザードマップの浸水・土砂災害区域
◆設備管理度（快適性）	12 条点検（建築基準法）の設備に関する項目及びバリアフリー関連法
◆活用度（利便性）	利用人数及び利用可能時間あたりの延床面積

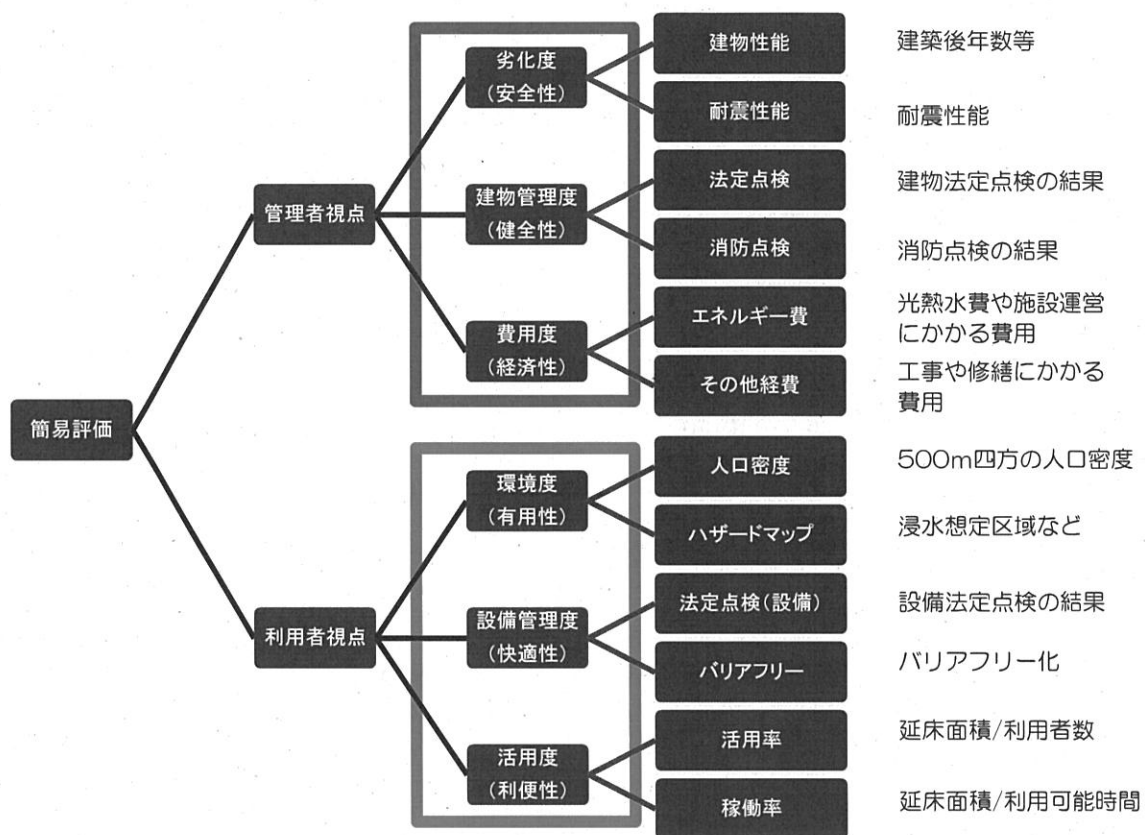


図 3-1 評価項目とその概要

(2) 簡易評価を用いた施設評価

各項目の現況についてそれぞれ評価を行い、その評価結果を、図3-2に示すポートフォリオ（指標を組み合わせる手法）にあてはめ、各施設の評価を「維持継続」「利用検討」「更新検討」「用途廃止」の4つに分類します。

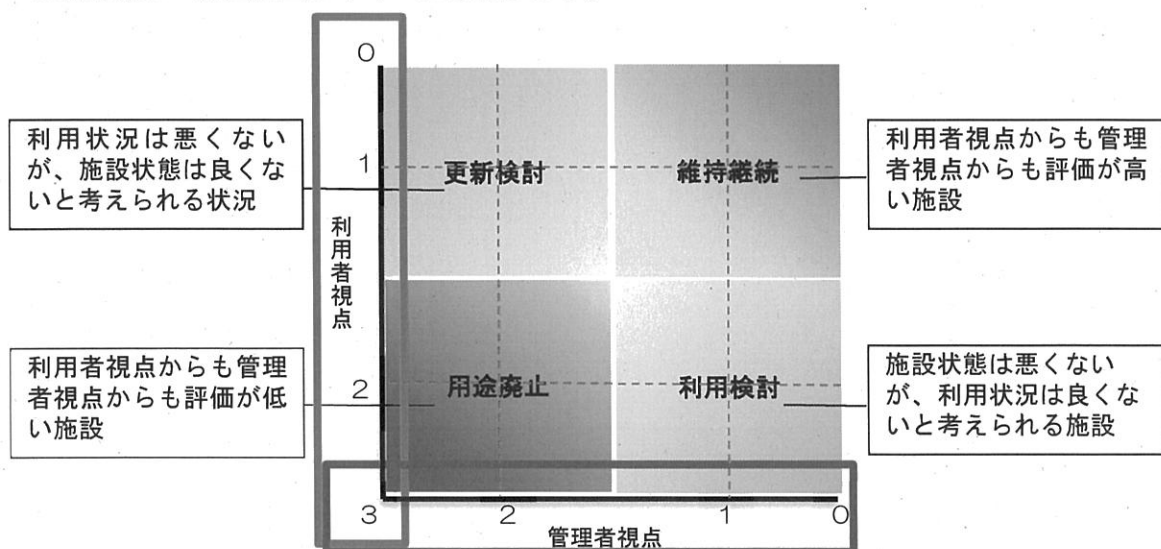


図 3-2 簡易評価を用いた施設評価を示すポートフォリオ

④ スポーツ・レクリエーション系施設（公共施設白書 P.61～74）

■ 施設の現状（平成26年度末時点）

（ア）管理者視点の状況

- ・岡部B&G海洋センター（1,103 m²）、わんぱくランド（749 m²）の2施設が旧耐震基準で、耐震診断が未実施であり、継続利用には早急な対応が必要。なお、市民体育館（1,825 m²）については耐震診断の結果、補強不要。
- ・上記3施設のほか、新耐震基準ではあるものの、川本サングリーンパークの一部施設は木造であり、竣工後25年を迎え、施設の老朽化が進んでいる。
- ・川本サングリーンパークは敷地の約78%が借地であるほか、わんぱくランドも含めて、施設の運営や管理にかかるコストが大きい施設となっている。

（イ）利用者視点の状況

- ・10施設のうち、市民体育館、深谷城址公園^{かもんりょう}掃部寮、川本トレーニングセンターが、ハザードマップ上での危険度が高いエリアに存在している。

■ 簡易評価結果（平成26年度末時点）

利用者視点	41, 42, 46, 47	40, 44, 45, 48, 51	【簡易評価対象施設】 40 総合体育館(深谷ビッグタートル) 41 市民体育館 42 岡部B&G海洋センター 43 川本農業者トレーニングセンター 44 花園農業者トレーニングセンター 45 深谷グリーンパーク・パティオ 46 仙元山公園遊園地(わんぱくランド) 47 川本サングリーンパーク 48 仙元山公園陸上競技場管理棟 51 深谷城址公園掃部寮
	更新検討 用途廃止	維持継続 利用検討 43	
管理者視点			

■ 40年間の長期的な方針（平成25年度から平成64年度まで）

- ・スポーツ施設及びレクリエーション施設は、維持管理を基本とし、定期点検の実施や計画的な修繕を行いながら長寿命化に努める。しかし、老朽化が激しい施設や運営状況などから、安全性、利用状況や代替機能の可能性を勘案して、廃止を検討する。
- ・グラウンドや運動公園等（※）については、維持管理コストの削減を図りながら、施設の維持に努める。なお、大規模改修が必要となる時点で、施設の在り方について検討する。

※これらの施設については、建物がないため簡易評価の対象となりません。

深谷市公共施設適正配置計画

公共施設を対象とした
平成25年度から平成34年度までの10年間の短期計画



公共施設の短期方針

1. 用途別に見た公共施設の短期方針

総合管理計画で示した公共施設の長期方針に基づき、深谷市公共施設白書作成後の10年間（平成25年度から平成34年度まで）に取り組む公共施設適正配置の短期方針を施設用途別に定めます。なお、本計画の策定にあたっては、これまでに示した簡易評価結果を参考に、全市的な施設の配置状況、また、これまで施設所管課で検討してきた経過等も踏まえたものとしています。

また、適正配置計画において存続していく施設については、総合管理計画で示した方針に基づき、各施設の在り方について、引き続き検討していくものとします。

本計画で示す方針のとおり適正配置を進めた場合、計画期間内における公共施設の削減床面積は約24,400㎡であり、削減率はおおよそ7%となります。

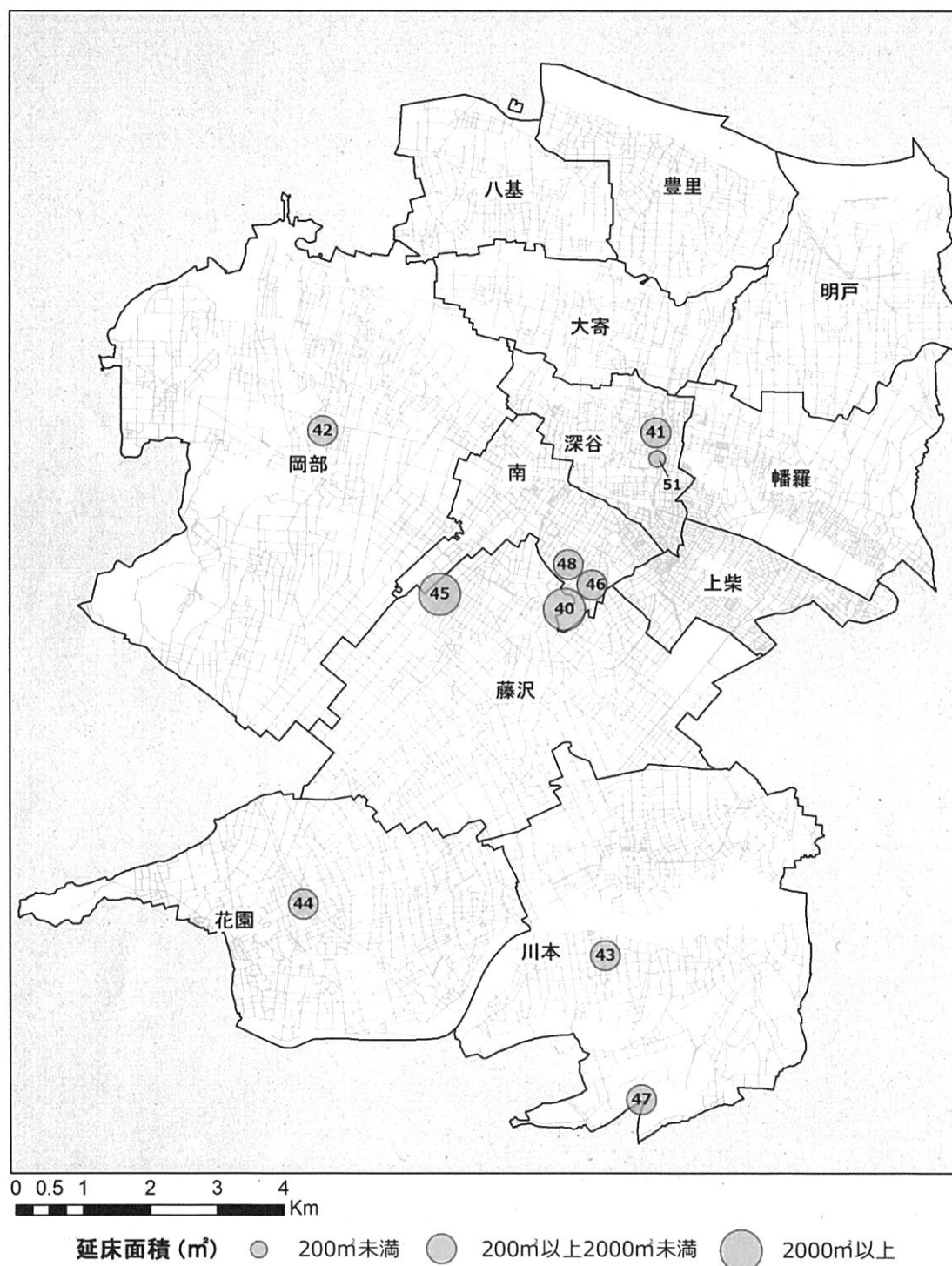
この削減率は、表4-1に示す5施設を含んだものとなります。

表 4-1 公共施設適正配置済施設(H25.4.1～H27.4.1)

No.	施設名称	適正配置方針	機能面	建物面
32	たんぼぼ作業所	H27.4.1 従前の指定管理者へ民営化済。	民営化	民営化
33	つくしの家	H27.4.1 従前の指定管理者へ民営化済。	民営化	民営化
81	藤沢保育園	H26.4.1 公募により民営化済。	民営化	民営化
84	豊里保育園	H26.4.1 公募により民営化済。	民営化	民営化
153	市役所 第二庁舎	平成27年1月 岡部浄水場建設に伴い廃止済。施設跡地は公売。	廃止	廃止

(4) スポーツ・レクリエーション系施設

施設数：10 施設 施設総延床面積：28,278.74 m²



■公共施設適正配置の短期方針（平成 25 年度から平成 34 年度まで）

No.	施設名称	適正配置方針	機能面	建物面
40	総合体育館 (深谷ビッグタートル)		存続	存続
41	市民体育館	施設の老朽化が進んでいるが、公民館体育室等で代替が可能であるため、大規模改修が必要になった時点で廃止する。	廃止	廃止
42	岡部 B&G 海洋センター		存続	存続
43	川本農業者トレーニングセンター		存続	存続
44	花園農業者トレーニングセンター		存続	存続
45	深谷グリーンパーク・パティオ		存続	存続
46	仙元山公園遊園地 (わんぱくランド)	施設の機能については存続とするが、管理棟(建物)については、旧耐震基準であり老朽化しているため廃止する。	存続	廃止
47	川本サングリーンパーク		存続	存続
48	仙元山公園陸上競技場 管理棟		存続	存続
51	深谷城址公園掃部寮		存続	存続